

「第6回古賀市生涯学習笑顔のつどい第2回実行委員会」

2019年6月27日（木）19時～20時

1 第1回実行委員会の確認

(1) 第6回笑顔のつどいの趣旨

- ・少子化、地域の教育力低下、人のつながりの希薄化、子育ての孤立化などの現状を踏まえ、地域での子育ての実践発表・交流を通して、成果や課題を協議し、今後の子どもの成長をどのように支援すればよいかを共有する機会とする。

(2) 子育ての課題

第6回笑顔のつどい「子どもの居場所」発表

- ①経済格差からくる体験の格差・不足
- ②子どもの心を耕す豊かな体験活動の保障
- ③孤立化する子育ての解決
- ④中学生の地域との連携
- ⑤学校と連携した子どもの居場所
- ⑥疎外されがちな子どもの居場所

「知る」「発展」「つながる」

- 行ってみたい。
- 楽しかった。
- 相談してみた。悩みを共有できた
- 気持ちがわくわくした。
- 僕たちも役に立った。
- 私たちの地域でもやってみたい。
- ボランティアをしてみたい。

(3) テーマ 「みんなで育てよう！笑顔で語り合おう！」

～未来を支える子どもたちのために～

(4) 第1部全体会10時～11時

実践発表「子どもの生活満足度と地域との関わり」～子どものQOL尺度の分析を通して～

発表者 星の子文庫代表 加藤典子（西南大学大学院人間研究科）

講評（まとめ） 井浦社会教育委員

- ・市内8小学校の6年生児童の生活満足度調査を元にした子どもたちの地域での生活の現状と課題の分析を通して見えてくる地域での子育てのあり方についての問題提起。

(5) 第2部分科会11時10分～12時10分

実践発表5団体

①「星の子文庫」（幼児、小学生対象）（井浦）（橋爪）

- ・地域における子どもの居場所づくり。毎週金曜日読み聞かせ、物づくり、季節に合わせたイベントの開催など、子どもたちのニーズに応える多彩な豊かな体験活動を通して、子どもの心を豊かに育てる地域の子育てスポット。

②「東小放課後子ども広場」（小学生対象）（國友）（平島）

- ・放課後、学校の施設を活用した小学生の居場所づくりの実践。毎週火・水・木曜日ランドセルのまま気軽に集える学校内での遊び体験、学習活動ができる安心・安全な居場所づくり。東小校区コミュニティのみなさんが支えています。

③「鹿部区子育てサロン」（乳幼児対象）（村山）（秋山）

- ・福祉員3名の方が子育てを支える月に1度（第3火曜日）の子育てサロン。ママ同士、子ども同士の心のつながり、遊び体験、子育ての悩み相談など子どもとママのリラックスタイムができる地域のほっとステーション

④「おそらのしたで」（乳幼児対象）（角森）（丸井）

- ・グリーンパークピクニック広場を活用した毎月第1火曜日開催の外遊びを楽しめる広場。
NPO 法人「子どもパートナーズ HUG っこ」。いろいろな外遊びを自然の中で太陽、風、空気を五感で体感させることで、子どもの豊かな感性を育てる居場所づくり。

⑤「北中校区もりあげ隊」（中学生対象）（松本）

- ・中学生が自分たちにてできる社会貢献活動を自主的に発案・企画・実践する北中生の自主的な社会貢献・地域貢献の自治会活動。①地域のひととの交流、②郷土への愛着心、③ボランティア精神の高揚を目的とする中学生の自尊感情を高める地域と連携した居場所。

2 本日の協議 分科会のあり方（11時10分～12時10分）

（1）タイムテーブル [案]

発表	質疑・交流	まとめ	閉会行事 (アンケート記入)
15分～20分 プレゼン	30分	5分	5分

（2）発表・質疑・交流のあり方

- ・形態
 - ①円卓型 ②口の字型 ③正面型 など
- ・発表内容の検討
 - プレゼン配布資料（スライド写真）を元に内容を検討する。
- ・協議の仕方
 - ①質疑形式
 - ②リレートーク
 - ③演習
 - ④パネルディスカッション など

（3）まとめ

- ・社会教育委員が成果や課題を整理し、まとめを発表します。

（4）閉会行事

- ・アンケート記入と回収
- ・閉会の言葉（社会教育委員）

3 その他

- ・当日持ち込み資料の有無・準備する物（発表する団体で、事務局で）
- ・分科会場のレイアウト（展示物など）

- ・呼びかけのチラシ作成、配布のタイムスケジュール
- ・呼びかけ団体の総会等の日程把握
- ・青少年育成課の参画依頼

3 次回 第3回実行委員会

8月31日(土)

- ・PCの動作確認
- ・会場確認〔レイアウト〕
- ・分科会の協議の最終確認